

探鳥会報告2013

【目的】 野鳥状況について調査する

【調査地域】 五色沼・レンゲ沼・中瀬沼・レイクウッド・裏磐梯スキー場下

【結果・考察】 例年よりは夏鳥の飛来は4、5日遅かった様ですが個体数としては例年と変わらない様に思います。基準となるカッコウ、ホトトギスは5月中旬頃に飛来しました。特筆すべき事は6月6日に日本では迷鳥中の迷鳥のヤツガシラを裏磐梯で確認出来た事です。そして6月下旬頃に裏磐梯では今まで確認した事のなかったサンコウチョウの姿と鳴き声を確認しました。この事から推測すると裏磐梯で繁殖している可能性が出て来ましたので、今後も継続して観察して行きたいと思います。

裏磐梯では現在コヨシキリの繁殖地は1カ所だけで今年は確認が取れませんでした。この鳥もまた継続して観察が必要かと思えます。オオジシギは何年かぶりにえながの会で定点観察を行い、個体数の把握をする予定です。今まで裏磐梯ではキバシリを見る事はなかったが、ここ1、2年に観察会をすると見る事が出来る様になりました。ノジコの個体数がアオジより多くなって来た可能性があるのも観察の継続が必要になりました。

9月の中旬頃に例年通りエゾビタキ、サメビタキ、が渡の途中に姿を確認できました。秋は天候が良かったので木の実が豊富で冬鳥の飛来を期待していたのが見事あたりツグミ、マヒワ、ウソ、レンジャクの定番の冬鳥が沢山飛来しました。裏磐梯ではほとんど見られないオオマシコがキハダの実を食べていたり、ベニヒワがハンノキの実を食べている姿を見つける事が出来ました。イスカも確認出来た数は60羽ほど入り久しぶりに裏磐梯の冬鳥はにぎやかであった。

以上をまとめると次年度のえながの会は下記の鳥を重点に観察して行きたいと思えます

- 1) サンコウチョウの繁殖確認
- 2) オオジシギの個体数調査
- 3) ノジコとアオジの個体数
- 4) コヨシキリの繁殖の確認

【概要】

(1) 調査実施日

- ※第1回 平成25年 4月14日
- ※第2回 平成25年 5月14日
- ※第3回 平成25年 7月23日
- ※第4回 平成25年 9月 6日
- ※第5回 平成25年10月 1日
- ※第6回 平成25年11月 6日
- ※第7回 平成25年11月19日
- ※第8回 平成25年12月 4日
- ※第9回 平成26年 1月15日

(2) 調査者

裏磐梯エナガの会